

# 2016 年度 アメリカ留学報告書

---

実習先: ノースウェストミズーリ州立大学

実習期間: 8 月 24 日 ~ 12 月 17 日

新潟国際情報大学  
国際学部 国際文化学科  
学籍番号: 21015021  
奥田 早希

# 目次

1	留学先及び期間	2
2	留学先概要	2
3	留学目的	2
4	留学内容	3
4 - 1	留学のスケジュール	3
4 - 2	留学の詳細	3
5	所感	3
6	おわりに	3
	謝辞	4

## 付録

	滞在日誌	5
--	------	---

## 1.留学先及び期間

留学先：ノースウェストミズーリ州立大学

留学期間：平成 28 年 8 月 24 日～平成 28 年 12 月 17 日

※帰国は 12 月 18 日

## 2.留学先概要

### (1)大学概要

アメリカコースの留学先であるノースウェストミズーリ州立大学は、ミズーリ州メリーベルに位置する公立大学である。大学の治安はとても良く、1994 年に独立調査機関によって全米で 4 番目に安全な大学と認定された。大学の敷地は 97.1 ヘクタールであり、日本の大学に比べると非常に広い敷地である。文系・理系分野の学部は勿論、音楽・演劇・芸術まで様々な分野の学部があり、多様な研究が行われている。また、近年アメリカンフットボールのチームが非常に強く、National Championship などの大会で好成績を修めている。

### (2)大学での教育について

ノースウェストミズーリ州立大学では、上記したように多種多様な学部が存在しており、学生のニーズに合った教育が受けられる。また、大学では新潟国際情報大学の留学制度の他に様々な国からの留学生を受け入れている。そのため、英語を母語としない留学生が大学で教育を受けるにあたり、言語の壁に苦しむことの無いよう ESL(English as second language)のクラスが設けられている。このクラスに本学学生が参加した。授業では、基礎的な英語の文法や大学でのレポートの書き方から、アメリカという国の文化・政治についても学ぶ事が出来る。

## 3.留学目的

今回の留学の目的は、アメリカ合衆国という国で暮らすことにより、言語は勿論文化的な相違点について学ぶことである。今まで学んできた日本の教育における英語は、あくまで試験で活かす語学であり、実際にコミュニケーションが取れる英語では無いと感じた。確かに、TOEIC の点数や英検などの資格は将来の就職に非常に重要であるが、自分が求めているものとは全く違うものだと感じたのである。

また、多民族国家であるアメリカで過ごすことにより、今まで日本の中だけにあった自分の視野を世界にまで届くように広げたいと感じた。メディアだけを見てきた「外国」というイメージを払拭するようにする。

この留学では、学んだ英語をコミュニケーションの面で活かすことを目標とするとともに、偏った価値観を改めるように取り組んだ。

#### 4.留学内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

##### 4-1 留学のスケジュール

留学期間のスケジュールは以下のとおりで行われた。

月	日	内容
8	25	到着・入寮
	26	授業についてのガイダンス・予防接種
	29	クラス分けテスト
9	2	最初の TOEIC テスト
	8	Activity Buddy と顔合わせ・アメリカンフットボールの試合観戦
	11	FIS family (ホストファミリー) と顔合わせ
	16	Field Trip (オマハ動物園)
10	10-14	Midterm test week
	27	ESL Field Trip (美術館・モール)
	28	Flag-raising Ceremony
11	21	Field Trip (高校見学)
	23-27	Thanks Giving break
12	12-13	Final Exam
	15	TOEIC テスト・卒業パーティー・ESL party
	17	出発

また、期間中の授業の時間割は以下のとおりで行われた。

※2 クラスで構成され、学習度別で分けられる。

時限	月	火	水	木
1	Reading & Writing			
2				
3	Grammar			
4	NUIS project	TOEIC	Culture	TOEIC

##### 4-2 留学の内容

<授業内容>

###### 1) Reading & Writing

主に教科書のなかの長文を読み進め、長文読解と語彙の能力を高めることができる。また、各ユニット終了後は理解度を確かめるために小テストを行うとともに、ユニットに関する独自の意見を含む作文を書いて提出する。長文を読み解く能力がつくと同時に英語で

アウトプットをする能力も身に付けられる。

## 2) Grammar

教科書を用いて、中学レベルの文法から学び直す。基本の文法の他に、ネイティブが多く使うフォーマルではない省略形なども学習した。宿題は、教科書に基づいたパソコンのサービスを用いて出される。

## 3) TOEIC

TOEIC の問題集を教科書として用いて行われる。このクラスではリーディングパートの長文読解は省き、小問を中心に学習する。リスニングパートは全て確認する。頻出問題は全員で確認し、最後の週の試験に備えた学習を行う。

## 4) Culture

ESL のクラスから 6 グループを作り、各グループに決められたアメリカの慣習についてのテーマについてスピーチを行う。テーマについては、「Table manner」、「Body language」などが例として挙げられる。また、メキシコからの留学生が参加した 1 か月間は、大学内の教師や警察などからスピーチをして貰い、本物のアメリカのシステムについて学んだ。

## 5) NUIS project

新潟国際情報大学の生徒は、留学期間中にノースウェストミズーリ州立大学の紹介動画を作ることがもう 1 つの課題である。これを作ることにより、メンバー内の信頼関係を築くことができる。また、大学内の紹介をすることにより、自身が大学についてより多くの事を知ることができるという点がメリットとして挙げられる。

### <授業外の活動>

#### 1) Conversation partner

この活動は、教育に関わる学部に属している地元の学生が、週に一回 1 時間の時間をお互い作り、会話の能力を高めるというプログラムである。

#### 2) Activity buddy

この活動は、地元の学生 2 人に対して ESL の学生 1 人がグループを組み、週に 1 回学内のアクティビティあるいは学外の外出を行うものである。このプログラムは今年から実施された。

## 5.所感

### 1) 当初目標・目的への達成度

目標であった「コミュニケーションとしての英語を学ぶ」という点は、自分にとって納得のいく結果であったと言える。ESL クラスの友人らと親しくなれたことで、趣味嗜好などの他愛もない会話を楽しむことができ、事務的な会話だけでなくコミュニケーションを取ることができた。

また、アメリカでの生活により、価値観は大きく変わり知識も富んだように感じる。特に、留学期間中、アメリカの大統領選挙があったことにより、アメリカの大学生が政治に関して強く意思表示をしている点にとっても驚いた。日本の大学生に比べ、アメリカの大学ではより多くの政治的運動などが行われていると感じた。更に、ジェンダー問題についてもアメリカは日本より重要視していると感じた。例を挙げると、大学でのアンケートにおいて性別の欄に「male」「female」「other」という選択肢があることである。日本では男女以外の選択肢は基本無いものとしているため、このような考え方にはとても感銘を受けた。このような体験により、日本に無い考え方を学び取り入れたことで、当初の「価値観を改める」という目標においては達成できたと感じる。

### 2) 反省・課題

この留学では、「外国人の友達を多く作る」という個人的目標があった。しかし、これは達成出来なかったと言える。何故なら、留学期間中において日本人の友人と長い時間をともにし過ぎたからである。しかし、慣れていくうちに韓国や中国の友人とも信頼関係を築くことができた。当初の予想とは大きく違い、「仲良くなる」という事すなわち信頼関係を築き上げるということはとても難しい事なのだと感じた。そこで挫折してしまい、多くのチャンスを失ってしまったことが反省点である。

今回の留学で学んだ多くの事は、自分の経験としてこれからの将来に活かし、英語の勉強も続けていきたい。また、留学をとおして学んだ異文化については、今後も日本で行われる様々な活動に積極的に参加し、理解を深めていきたい。

## 謝辞

今回の留学において、ノースウェストミズーリ州立大学にて懇切丁寧な指導をしてくださいました Jeffrey Foot 先生、Nancy Hardee 先生、Helen Konstantopoulos 先生、ホストファミリーの Nancy Hardee さん、Tommy Hardee さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学のアメリカ留学コース担当で 2016 年度アメリカ留学の事前セミナーでの指導を賜りました、藤本直生先生、矢口裕子先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、今回の留学への参加が実現し、かけがえのない素晴らしい体験ができたことを、心から感謝いたします。

## 付録：研修日誌

ここでは、アメリカコースにおいて週ごとの詳細な記録を記す。

8/24
出発（新潟駅-成田空港-ダラスフォートワース空港-カンザスシティ）
内容 <ul style="list-style-type: none"><li>・新潟駅でメンバーと合流し、その後新幹線で東京駅へ移動。</li><li>・成田空港までバスで移動し、飛行機へ搭乗。</li><li>・ダラスで乗り換えて、カンザスシティへ。</li><li>・カンザスシティに到着し、ノースウェスト大学の教員の方々と合流し、バスに乗った。</li></ul>
移動の所感 <p>成田空港へ移動する際の成田エクスプレスが、線路が冠水するというトラブルで乗れなくなりました。急遽バスで移動することになり、フライトまでの時間の余裕が無かったです。また、ダラスからカンザスシティでの乗り換えが終わり、空港に着くとある学生の荷物が届いておらず、数多くのトラブルに見舞われた。</p>

8/26
ガイダンス
内容 <ul style="list-style-type: none"><li>・今後の予定</li><li>・大学内案内</li><li>・重要な連絡先</li><li>・今後の予定について</li><li>・予防接種・健康状態確認</li></ul>

8/29-9/4
クラス分けテスト・大学コーディネーターと顔合わせ・ Conversation Partner と顔合わせ・最初の TOEIC テスト
所感 <p>最初に行われたクラス分けテストは、TOEIC の文法や読解の小問が沢山あるような試験だった。また、この週では、大学コーディネーター—(Belinda さん)と初めてのミーティングを行った。Belinda さんは、その週にあったことや困った事などを相談する場として設けられているほかに、他の地元の学生を率いて週に 1 回学内のアクティビティを共に参加する。</p> <p>更に、Conversation Partner (以下 CP) との顔合わせも行った。第 1 回目の顔合わせでは、お互いに緊張しており、あまり話せなかったが、次回はより積極的に話すよう心がけ</p>

たい。

9/2 には、最初の TOEIC テストが行われた。12 月の最後の週に行われる TOEIC テストの成績と比較するために行われる。久しぶりに行った試験は難しく感じた。

9/5-9/11

アメリカンフットボール試合観戦・Activity Buddy と顔合わせ・FIS family と顔合わせ

所感

9/8 に行われたアメリカンフットボールの試合には、あまりの迫力に圧巻された。初めて生で見るアメリカンフットボールは、テレビで見るよりも、サポーターたちの応援も相まってとても興奮した。

また、この週は Activity Buddy (以下 AB) との初めてのミーティングもあった。早速、次に参加するイベントを決めた。

9/11 には、FIS family もといホストファミリーとの顔合わせとしてピクニックが行われた。自分のホストファミリーは、普段 ESL のクラスで教わっている Hardee 先生だったので、いつもとは違う授業以外の会話が弾み、楽しかった。

9/12-9/18

Field Trip (オマハ動物園・モール)

所感

9/16 に行われた遠足では、ネブラスカ州の東端にあるオマハの動物園に出かけた。日本とはまた違う様々な種類の動物や昆虫の観察を楽しんだ。その後、ショッピングモールでは学生各自で買い物を楽しんだ。

9/19-9/25

NUIS project 撮影

この週では、NUIS project のオープニング部分の撮影を行った。9/21 に学内の教室を貸切って“CUPS (カップス)”というアメリカで流行した遊びを 23 人で行った。撮影はとても難しかったが、皆で協力してなんとかやり遂げた。最後にメンバー全員で映像を見た時は、とても感動した。

9/26-10/2

CP とのミーティング・Reading/Writing の小テスト・Belinda さんとのミーティング

この週では、ESL クラスの小テストなどがあった。また、CP と Belinda さんとのミーティングなどの週 1 回行われるミーティングがあった。



10/3-10/9
Listening/Speaking クラスのグループスピーチ・FIS ファミリーとのアクティビティ
<p>10/5 には、Speaking/Listening の授業の一環でグループ単位のスピーチが行われた。このスピーチのテーマは「Founding Father」であり、自分のグループは「Thomas Jefferson」がテーマとなった。</p> <p>また、10/9 には FIS family である Nancy さんと彼女の孫である Adrianna のサッカーの試合を観戦しに行った。</p>
10/10-10/16
Midterm Test week
<p>この週は、全ての教科の中間テストが行われた。また、TOEIC のリスニングパートのみのテストも行われた。</p>
10/17-10/23
International Coffee Hour
<p>この週の AB とのアクティビティは、International Coffee Hour というイベントだった。このアクティビティでは、留学生が中心に集まり、異なる文化を持つ人々同士で会話を楽しむというイベントである。AB と共に参加し、様々な国の方と交流を持つことが出来た。</p>
10/24-10/30
ESL Field Trip (美術館・モール)・Flag Raising Ceremony
<p>10/27 に行われた遠足では、先週から来たメキシコの留学生と共に美術館とモールでの買い物を楽しんだ。美術館では、アメリカのみならずアジア圏・ヨーロッパの美術品や歴史的な展示物が多く、とても勉強になった。</p> <p>10/28 に行われた Flag Raising Ceremony は、各国から来た留学生たちが自国の国旗を掲げるというイベントだった。このイベントでは、今まで交流の無かった他国の留学生とも会話を楽しむことができた。</p>
10/31-11/6
Change to winter time
<p>11/6 に、夏時間から冬時間に変更した。日本ではこのような習慣は無かったので、時差が1時間遅くなったという事に慣れる事が難しく感じた。</p>

11/7-11/13
メキシコからの留学生たちと最後のディナー
11/11 に、メキシコの留学生たちと A&G というレストランでディナーを食べた。メキシコの留学生たちはとてもフランクで、すぐに仲良くなれたために別れが辛かった。写真をたくさん撮り、別れのハグをした。

11/14-11/20
Listening/Speaking クラスの個別スピーチ
11/17 に、Listening/Speaking の授業の一環で個人のスピーチが行われた。この時の自分のテーマは「Malcolm X」だった。このスピーチを通して、アメリカの偉人たちの事理解が深まった。

11/21-11/27
Field Trip (高校見学)・Thanks Giving Break
11/21 に、メリービルの高校に見学をしに行った。ドラマや映画で見るハイスクールそのものだったので、授業見学や校舎見学もとても楽しめた。 11/23 から 11/27 までは Thanks Giving Break であり、いよいよホストファミリーの家へのホームステイが始まった。ホームステイの期間では、Hardee さん達の孫や家族たちの中に入れてもらい、料理やゲームなど楽しい時間を過ごした。

11/28-12/4
Visiting X'mas decoration and home
12/4 は、FIS family である Nancy さんのご家族とクリスマスの飾りつけをしている家を見学しに行った。日本では、クリスマスの文化はあるが、アメリカと比べて飾りつけはあまり派手ではないので、飾りつけを見るだけでも楽しめた。また、近所の家の外装のみならず内装まで見に行くというイベントがあるという事にとっても驚いた。

12/5-12/11
TOEIC vocabulary test
この週では、TOEIC の授業の語彙テストが行われた。また、来週行われる最終テストの勉強などで忙しかった。

12/12-18
Final Exam test week・TOEIC 最後のテスト・卒業パーティー
12/12・13 日は全ての教科の最後のテストが行われた。

また、12/15には朝に TOEIC の最後のテストを受け、夜に ESL の卒業パーティーを行った。パーティーでは今まで一緒に授業を受けた友人たちと最後の別れを惜しんだ。